



真名子小だより 12月号

えがお



平成25年12月20日

発行者 島田 芳行



師走に入り、朝夕ずいぶん冷え込んでまいりました。

毎朝、子どもたちの登校の安全を守ってくださる交通指導員様やボランティアの皆様の服装もまさに冬支度。吐く息を白くしながら、子どもたちのあいさつに元気に応えてくださっています。最近、子どもたちのあいさつの声が大きくなってきたのも、こうした地域の皆様のお声かけのお陰と思っています。そして、西方中学校の生徒の皆さんがよいお手本になっています。寒い朝でも、私の姿を見るとだれもが自転車から元気な声であいさつ

をし、爽やかに走って行きます。その後ろ姿に、いつも「立派だな。本校の子どもたちも西方中生のようになって欲しいな」と思います。真名子小近くの通りは、まさに小学生、中学生、地域の皆様のあいさつが飛び交う「あいさつ通り」。真名子の地域のすばらしさを感じることができます。

さて、早いもので2学期もあとわずかになりました。2学期は、学習発表会や持久走大会、読書週間や人権週間など大きな行事があり、子どもたちはいつも目標をもって学習に運動に頑張っていました。改めて本校の教育目標について、今学期を振り返ってみたいと思います。

進んで学ぶ子



4月に行われた全国学力・学習状況調査の結果、国語では文章を読み比べたり、考えをまとめたりすることが課題であり、算数では、条件を読み取り文章題を解くことが課題になっています。10月の読書週間では、読書紹介や読書感想文発表などで意欲づけを行い、多くの読書に親しませ、文章を読む力の育成を図りました。また、思考力・表現力を高めるため、「伝え合おう学びの輪」をテーマに学習発表会を行い、子どもたちが見事な発表を行いました。1学期に比べ家庭学習への取り組みも積極的になり、学習への意欲が高まってきているように思います。

4月から「いじめのない日本一の仲良し学校」を目指してきました。友達とのトラブルがあっても早期発見・早期解決に努め、12月のいじめ調査では、「いじめ0」という結果でした。12月の人権週間では「相手の気持ちを理解し、思いやりの心を育もう」をテーマに、友達のよさを互いに認め合う活動に取り組みました。上級生の下級生への思いやり、下級生の上級生への感謝の気持ちがたくさん見られました。真名子っ子班で農園やボランティアなどを行いますが、6年生のリーダーシップのもと、1年生から6年生まで皆で仲良く活動するのが、本校のよさです。

思いやりのある子



笑顔はじける元気な子



5月に行われた新体力テストの結果、本校では全体的に柔軟性、低学年の持久性に課題があり、体育の時間に柔軟運動を意識的に取り入れたり、真名子っ子タイムに持久走やなわとびを取り入れたりしました。特に11月27日に行われた持久走大会では、全員が自分で設定したタイムに挑戦しました。多くの子どもたちが自己ベストを出し、充実感を味わいました。また歯の健康や体の健康を守るため、歯みがき指導や健康指導に心がけてきました。治療等の御協力、ありがとうございました。

※ 本校は、知・徳・体のバランスの取れた教育の中で、課題の解決を目指し、一人一人の頑張りを認め伸ばす教育を行っています。

とちぎ未来アシストネットで深まる学校・家庭・地域の絆！ —地域の力を学校に、学校の力を地域に—

2学期もまた、保護者・地域の皆様の協力をいただき、充実した教育活動を行うことができました。

【社会科で地域の自然・歴史を学ぶ】



【生活科で地域で働く人たちの仕事を学ぶ】



【持久走大会での交通指導や豚汁づくりに協力くださった皆さん】



そして、今学期は、子どもたちが積極的に地域の行事に参加したり、ボランティア活動に取り組んだりしました。本校教職員も、真名子フェスティバルに参加させていただき、楽しい時間を過ごさせていただきました。

【ミュージッククラブが西方文化祭の佐藤一美先生のコンサートに参加…たくさん拍手をいただきました】



【耐震工事期間中お世話になった夢ホールの清掃】



【子どもたちと本校教職員と一緒に参加した第24回真名子フェスティバル…子どもからお年寄りまでみんなが楽しんだ1日でした！】



真名子城趾のある赤邊山に登りました



【大宮神社の落ち葉掃き】



宮司の若松様と氏子総代の大嶋様より御礼にと
子どもたちにみかんをいただきました



子どもたちのボランティアの心は世界にも…



外国語活動を教えるジェラ先生はフィリピンの出身です。ジェラ先生が台風 30 号被害で困っている人たちのために 12 月 20 日から母国にボランティアに行きます。そこでその話を聞いた 6 年生が全校児童に呼びかけ、フィリピンの子どもたちを元気づけようと鉛筆とメモ帳を集め、送ることになりました。

2013年の世相を反映した漢字として「輪」が選ばれました。東京五輪招致や東北楽天優勝の際に全国的に広がった支援・応援の輪。「輪」には大勢の人が一つになって円滑に回転していくという意味があるといわれます。本校の子どもたちも、真名子地域の保護者の皆様、地域の皆様の支援の「輪」によって見守られ、育てられた1年でした。ありがとうございました。